

自治体における取組事例(同一業務を5法人に分割発注) 大分市

発注の流れ

発注元
大分市

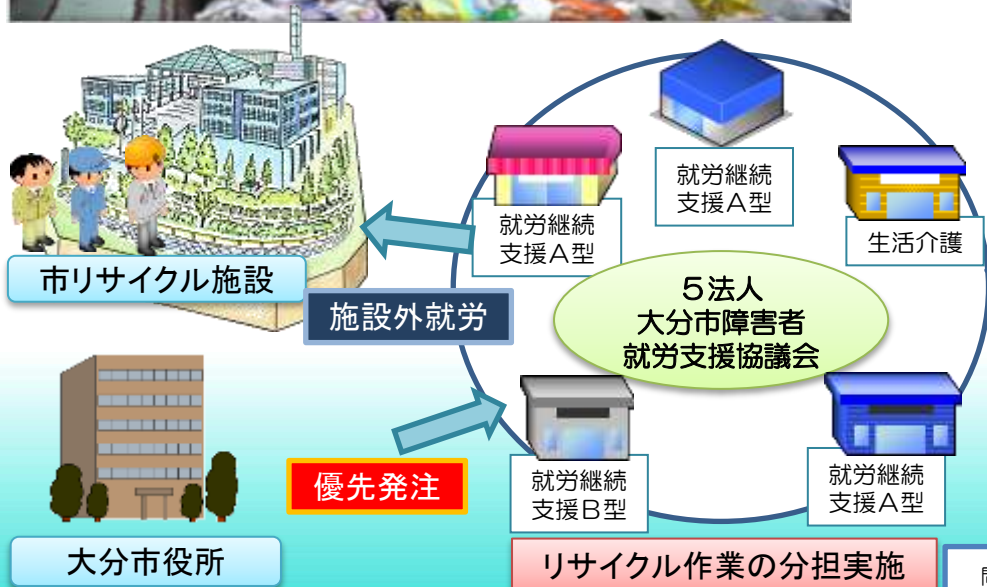


受託者
障害福祉サービスを実施している5法人
(大分市障害者就労支援協議会)



協議会がリサイクルプラザ業務を受注

- 市内の5法人が協議会（大分市障害者就労支援協議会）を結成し、市からリサイクルプラザの業務を各法人が受注し、ビン・缶の選別等を共同で行っています。
- 5法人の9事業所は、施設外就労として、リサイクルプラザの手選別業務の一連の作業を行っています。
- 各事業所が共同で作業にあたるため、協議会で知的障害者向けの共通のマニュアルを作成しました。



共同受注の効果

- 一事業所では受託は困難ですが、協議会を結成したことで、一連の作業の全てを受託できました。
- 一連の作業を受託することで、安定的に働く場を確保することができます。